

市内施設・店舗応援事業

予算額 1億4,118万円



エネルギー・食料品価格等の高騰により増加する家計負担の軽減と、市内施設・店舗を支援する取り組みの第9弾として「のみ応援特典券」を個人単位で配付します。

金額：2,000円につき1,000円割引の特典券  
一人あたり3枚（3,000円相当）

利用期間：令和8年8月1日～10月末

◀郵送する「のみ応援特典券」

**Q** 商工会に加盟はしていない店舗をのみ応援特典券加盟店に追加する交渉は行っていないのか。

**A** のみ応援特典券加盟店は、商工会に加盟していなければならないという決まりはなく、紹介等があれば市からお声がけもできる。  
また、市で創業支援をしている店舗には、のみ応援特典券加盟店への加入の案内は行っている。

避難所情報スマート連携推進事業

予算額 159万円

避難状況の的確な把握、県と各市町が連携した被災者支援、広域避難時の対応にあたることのできる体制を構築します。

避難所管理システムを使って避難所で受付（イメージ図）▶

**Q** 本事業で導入予定のシステムは、すでに終了している「避難所チェックインシステム」と同じ機能を有するものか。

**A** 「避難所チェックインシステム」が備えていた二次元コードを読み取る受付方法の多重化、避難者情報の管理機能、更に、避難所の混雑状況の配信等の機能が備わっている。



生成AIパイロット校事業

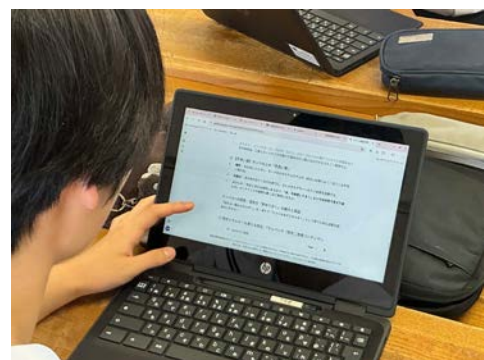
予算額 100万円

市内小中学校11校で、児童生徒の生成AIを含めた情報活用能力を育成するための実践的な成果・課題の研究に取り組み、市のGIGAスクール構想をさらに推進します。

中学校で生成AIを活用した授業風景▶

**Q** 研修・視察を実施するとのことだが、内容はどのようなものが予定されているのか。

**A** 主に東京の会場に全国の指定校が集い、先進的な実践について直接学ぶ内容となっている。具体的には、校務での効果的・効率的な生成AIの活用や、児童生徒の生成AIを含む情報活用能力を育成とデジタル学習基盤を活用した授業づくりについての研修が予定されている。



令和8年6月定例会

# 定例会報告



令和8年6月定例会が6月5日から26日まで(22日間)開催され、審査の結果、議案18件すべてを可決しました。  
請願2件は不採択となりました。



市長提出議案 ..... 18件  
請願 ..... 2件

補正予算



◀今号では、この中から「1議案」をピックアップ！

PICK UP  
1

議案第41号

令和8年度能美市一般会計  
補正予算（第1号）

2億7,300万円

ハラスメント防止対策事業

予算額 100万円

風通しの良い職場環境づくりに向けて、職員がハラスメントに関する相談や悩みごとを気軽に相談できる外部窓口を設置し、相談体制の拡充を図ります。

**Q** ハラスメント相談を行う際の手順と相談対応者はどのような方なのか。

**A** 相談を行う際は電話やメール・オンラインの中から希望の方法を選ぶことができる。連絡先は相談フロー図と併せて周知しており、市を介することなく直接相談することが可能である。  
相談の対応者は、臨床心理士や公認心理師・精神保健福祉士・産業カウンセラー等の心理職が基本となっており、相談内容に応じ保健師・看護師、さらには弁護士・医師が対応できる体制を整えている。



▲ハラスメント相談の外部窓口（イメージ図）